

図書館だより

READING

令和6年11月 第4号
川西緑台高校 図書委員会

過ごしやすい季節になりました。

【図書館開館時間】

昼休み 12:15~12:55

放課後 15:20~17:00

開館カレンダーは、
図書館前と教室に
掲示しています。



読書・自習・情報収集ができます

夏休みの読書活動を振り返って

読書活動として夏休みを利用し、1年生は「読書感想文」、2年生は「新書にふれる」に取り組みました。「読書感想文」は2000字、「新書にふれる」はワークシートに図示と1000字の感想文を書きました。

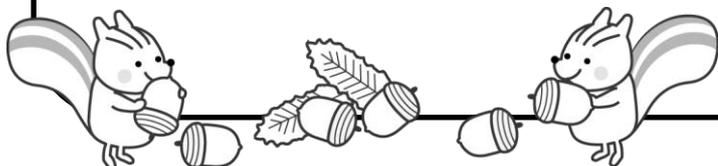
優れた作品がたくさんありました。そのなかでも特に優秀な作品を選び、学年別に最優秀賞、優秀賞を選びました。

「読書感想文」で最優秀賞・優秀賞に選ばれた作品は、阪神支部コンクールと高校生読書体験記コンクールの2つのコンクールに応募し、審査結果が届くのを待っているところです。

「新書にふれる」で優秀な作品については、図書館で展示中です。(11月中旬まで)

「読書感想文」「新書にふれる」優秀な作品に共通する特徴

- 選書が適切だった。
- 字が丁寧に書かれており、読みやすい。
- 内容を正しく理解している。
- 作者の主張や考えと自分の考えを、自身の体験を交え上手にまとめている。

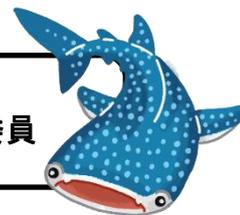


9月からの新着図書案内

書名	著者名	出版社	本の種類	分類番号
ガスライティングという支配	A・ケリー	日本評論社		141.6
アフリカを学ぶ人のために	松田素二	世界思想社		302.4
「なぜ？」からはじめる政治・経済	藤井剛	山川出版社		310
現代アメリカ大統領	浅川公紀	武蔵野大学出版会		312.53
経済学って何だろう	戸堂康之	サイエンス社		331
サクッとわかるビジネス教養 経済学	井堀利宏	新星出版社		331
サクッとわかるビジネス教養 経営学	池上重輔	新星出版社		335.1
サクッとわかるビジネス教養 会計学	國貞克則	新星出版社		336.9
影響力の武器見るだけノート	ゆうきゆう	宝島社		361.45
いのちをまもる図鑑	池上彰	ダイヤモンド社		369
ICT活用で主体的・協働をつくる教育DX	山本朋弘	明治図書		375
教育DXと変わり始めた学校	佐藤 明彦	岩波書店		375
不登校からの大学受験	平野稔	学びリンク		376.8
1杯目のビールが美味しい理由を数学的に証明してみました。	堀口智之	幻冬舎		410
これでわかるPFAS汚染	原田浩二	合同出版		519
希望、きこえる？	榮谷明子	汐文社		699
東京藝大で教わる西洋美術の見かた	佐藤直樹	世界文化社		702.3
ひとり生きる人生は幕引き直前まで面白い	堀文子	三笠書房		721.9
モナリザってどこがすごいの？	池上英洋	誠文堂新光社		723.05
生活はクラシック音楽でできている	渋谷ゆう子	笠間書院		762.3
日韓ポピュラー音楽史	キムソンミン	慶応義塾大学出版会		767.8
日本伝統文化のおけいこ 茶道・華道	小学生和のおけいこ	メイツ出版		791
一度読んだら絶対に忘れない国語	辻孝宗	SBクリエイティブ		810
全国大学小論文入試		旺文社		816.5
基礎からのジャンプアップノート 記述力養成・小論文	吉岡友治	旺文社		817.5
基礎からのジャンプアップノート 現代文重要キーワード	梅澤眞由起	旺文社		817.5
基礎からのジャンプアップノート 現代文読解	梅澤眞由起	旺文社		817.5
英検2級過去6回全問題集		旺文社		830.79
英検合格のための要約問題 予想問題集	竹岡広信	Gakken		830.79
バリ山行	松永K三蔵	講談社		913.6
ぼくがラーメンたべてるとき	長谷川義史	教育画劇	絵本	E726.6
ゼロからの著作権	宮武久佳	岩波書店	新書	S021
「みんな違ってみんないい」のか？	山口裕之	筑摩書房	新書	S115
自民党幹事長	星 浩	筑摩書房	新書	S315.1
客観性の落とし穴	村上靖彦	筑摩書房	新書	S361
ケアとは何か	村上靖彦	中央公論新社	新書	S369
学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか	広田照幸	筑摩書房	新書	S370.4
ペアレントクラシー	清水宏吉	朝日新聞出版	新書	S372.1

沖縄に関するおすすめ本

2年生図書委員



2年生は、11月に修学旅行で沖縄に行きます。

そこで図書館にある沖縄の本を3冊、図書委員さんより紹介します。

沖縄本フェアも開催中です。興味を持った人はぜひ読んでください。

『沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究を

するのか？』佐藤圭一 著 480.76

皆さんはコロナ禍の中、どのように過ごしていましたか？

ZOOMを用いた遠隔授業や、外出自粛など、学生や社会で働く人に対してかなり環境が変わるような状況だったと思います。このような環境でも、目の前の生き物の事を考え、大切に飼育するために頑張っている水族館の研究員の話から始まり、サメについて、私たちの国を囲んでいる海について研究員の話で終わる、生物に関するノンフィクションの本です。

なぜ、水族館員は役に立たないと言われている研究をするのでしょうか？その訳は、この本を読めばわかります。

『沖縄について私たちが知っておきたいこと』

高橋哲哉 著 302.199

まず始めに琉球処分（琉球王国が滅ぼされた事）を題材に取り上げます。皆さんは、琉球処分をどれくらい知っていますか？

教科書では詳しく語られなかった、「沖縄」についての歴史が紹介されています。また現在の沖縄の問題についても触れられています。興味がある人はぜひ手に取ってみてください。



『アンマーとぼくら』 有川浩 著 913.6

アンマーって呼んであげたら喜ぶと思うんだ。
沖縄の言葉で「おかあさん」って意味

この物語は、帰省で3日間沖縄で過ごすことになった「僕」の物語です。
舞台が沖縄ということもあり、首里城・シーサー・ウタキ・海・料理
など沖縄に関係するものが、物語の中に登場します。
内容もライトノベル調でかなり読みやすく、気軽に小説を読む感覚で
沖縄について知りたい場合は良い本になると思います。
ぜひ手に取ってみてください。



沖縄本フェアでは紹介した3冊のほかにも、るるぶなどの観光案内BOOKから歴史・戦争・
生物や植物・現代の沖縄の問題・小説までさまざまな分類の本を展示中です。
貸出もできますので、どうぞ



最新や現代版にご用心！

本のタイトルに最新や現代版とついているものがあります。新しい情報かどうか確認して
ください。本の一番最後のページを奥付（おくづけ）といいます。奥付には本の書誌情報が
掲載されていますので、出版年を確認する癖をつけてください。

【奥付けの出版年の見かた】

2022年11月1日 第一刷発行
2024年 8月1日 第三刷発行

2022年に初版発行され、2024年に3刷
（3回目の印刷）がされたことがわかります。

